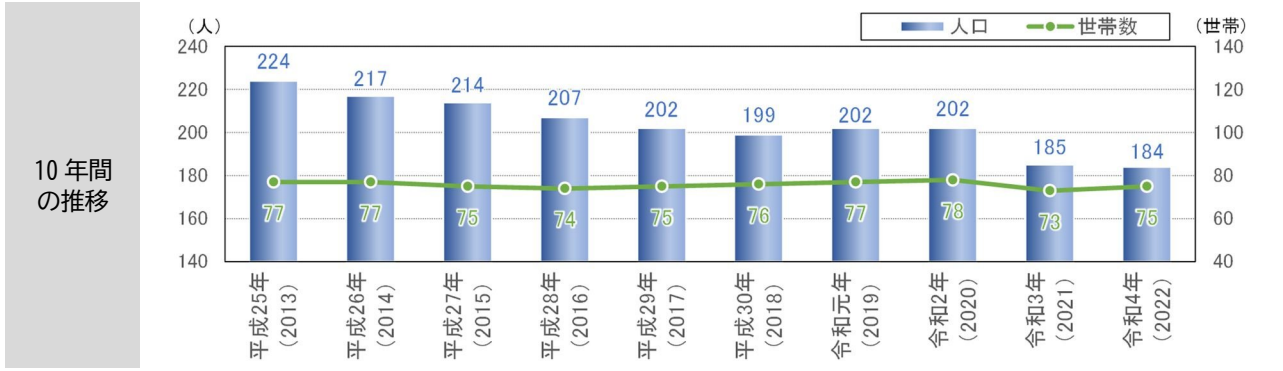
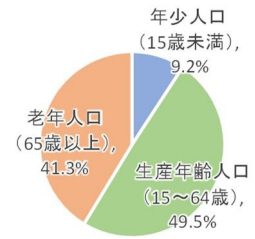


	世帯数	人 口	年齢別人口	
現 在	75 世帯	184 人	15 歳未満 (年少人口)	17 人
			15～64 歳 (生産年齢人口)	91 人
			65 歳以上 (老年人口)	76 人
約 50 年前	71 世帯	278 人		



10年間の推移

歴史等

「奥西谷」とも称し、地名の由来はその立地によるとされます。古代律令制では播磨国神前郡高岡里、中世は高岡荘に含まれたと考えられます。正保年間(1644～1648)の『正保郷帳』には村名は見られず、元禄年間(1688～1704)の『元禄郷帳』に「古ハ西治村、西谷村」とあり、寛永年間(1624～1644)に西治村から分村したと伝わります。近世は姫路藩領で、大庄屋組は山崎組に属しました。明治8年(1875)に西治村の一部となりました。なお、『兵庫県播磨国地種便覧』によると、明治14年(1881)の西治村の戸数は159戸・人口は697人でした。西治村は、明治22年(1889)に福崎村の大字となりました。第二次世界大戦中の昭和16年(1941)、隣接する高橋に大阪陸軍航空補給廠 姫路出張所、通称「高橋の弾薬庫」といわれる施設が置かれ、西谷にはその裏門が設けられ、現在も門柱が残されています。また、戦局の悪化に伴って「高橋の弾薬庫」の爆薬を疎開するために多くの弾薬塚が造られ、現在もそのいくつかが確認できます。



大歳神社



熊谷直実と平敦盛図 (大歳神社)



順教寺



弾薬塚



秋祭り・屋台



高橋弾薬庫裏門

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり										
				①	②	③	④	⑤	⑥					
建造物	建築物	1	大歳神社拝殿	明治前期	木造、入母屋造、瓦葺。なお、本殿は明治35年(1902)に改築している。西谷区が所有・管理している。							●		
		2	順教寺	1810～1830年頃	木造、瓦葺。							●		
	石造物	3	地藏菩薩立像(西谷東地藏堂)	不明	地藏菩薩の石仏。首の所で折れており、上部は後の追補である。下部は室町時代のもと考えられる。池を掘る時に多くの動物を殺したので、その供養のために造立したと伝わる。							●		
		4	子安地藏坐像(西谷東地藏堂)	不明	子安地藏の石仏。							●		
		5	石灯籠(大歳神社)	明治39年(1906) 明治40年(1907)	左右一対の石灯籠。神前型。左灯籠は明治39年(1906)秋、右灯籠は明治40年(1907)8月造立。左右ともに正面に「献灯」、側面に造立年月が記され、基礎の正面に「日露記念」、側面に軍人の名が記されている。							●		
		6	手水石(順教寺)	文化7年(1810)	手水石。正面に「澡漱」、背面に造立年月・世話人が記されている。							●		
		7	手水石(大歳神社)	大正7年(1918)	手水石。正面に「漱水」、背面に造立年月・施主が記されている。							●		
美術工芸品	絵画	8	熊谷直実と平敦盛図(大歳神社)	不明	奉納年月日は「□乙巳3月吉日」とあるが詳細は不明。奉納者は不明。78×121cm。				●			●		
		9	神馬図(大歳神社)	不明	奉納者は不明。画家は「五代和雄」(池本屋、高山市八軒町の絵馬版元)とある。50×65cm。				●			●		
		10	俳諧額(大歳神社)	天保11年(1840)	奉納者は「願主 若中」とある。85×193cm。				●			●		
		11	俳諧額(大歳神社)	天保9年(1838)	42.5cm×195cm。				●			●		
		12	羽子板絵馬(大歳神社)	不明	計10枚のうち、1枚に長岡茂子の銘あり。73.5×42.5・13cmが2枚、61.5×36・11cmが8枚。				●			●		
		13	騎馬武者絵図(大歳神社)	元治2年(1965)	奉納者は「向井太治兵衛 胡信吉納」とある。54×66cm。				●			●		
	書跡・典籍・古文書・歴史資料	14	西谷区有文書	—	63件(点数不明)。					●				

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
遺跡 戦跡	古墳・その他の墓	15	円光寺山西古墳	古墳時代	古墳時代の円墳（直径 15m）。					
	街道・古道等	16	北条街道	—	三木から宍粟に通じる因幡街道の道筋上にあたる東西の主要街道。絵図や柳田國男の『故郷七十年』などから当時の様子を知ることができる。					
		17	弾薬庫裏門跡	昭和初期	昭和 16 年（1941）に大阪陸軍航空補給廠姫路出張所、通称「高橋の弾薬庫」が高橋地区に置かれた。同施設の裏門であり、左右両側の門柱が残る。					
		18	弾薬壕	昭和初期	戦局の悪化に伴い、「高橋の弾薬庫」の爆薬を避難するための弾薬壕が掘られた。この弾薬壕は、下に向けて伸びており、落ちるとかなり危険である。					
		19	弾薬壕	昭和初期	戦局の悪化に伴い、「高橋の弾薬庫」の爆薬を避難するための弾薬壕が掘られた。この弾薬壕は、崩壊しており、場所も不明である。					
	20	弾薬壕	昭和初期	戦局の悪化に伴い、「高橋の弾薬庫」の爆薬を避難するための弾薬壕が掘られた。この弾薬壕には入ることはできるが狭いもので、不法投棄もみられる。						
有形の民俗文化財	祭具	21	屋台（西谷区）	—	神輿屋根型屋台。姫路市白浜の大工、麦本政雄氏によって作られたもので、昭和 63 年（1988）に昇総才の金具を増やすとともに、金具一式のメッキや漆の塗替え、かき棒、幕、伊達綱を新調。平成 13 年（2001）には狭間と露盤、金具のメッキや電飾を改良している。					
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	22	秋祭り（福崎）	—	福崎地区・高岡地区の屋台 13 台（布団屋根型 6 台、神輿屋根型 7 台）が二之宮神社に集まる。本宮では、宮元である山崎屋台が 12 台の屋台を JR 福崎駅前へ迎えに行き、福崎駅前で屋台が練り上げられた後、二之宮神社に宮入りする。拝殿で神事が行われ、五穀豊穡が祈願された後、宮出しが行われる。山崎の木方による合図で一斉に屋台が動きだし、練り合わせを行う「13 台サラバ練り」は見どころである。					

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	23	トンド	—				●		
		24	斎灯	—				●		
		25	湯立及び夏まつり	—				●		
		26	七夕祭	—				●		
		27	盆祭り	—				●		
		28	地藏祭	—				●		
その他	信仰の場	29	大歳神社	—				●		
		30	順教寺	—				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

- ・西谷区では、西谷だよりの発行、西谷金時（さつまいも）づくり、親睦花見会・防災訓練（炊き出し訓練）、夏まつりなど、三世代の交流のための各種取組を実施しています。



親睦花見会と防災訓練（炊き出し訓練）



西谷金時芋ほり



納涼夏祭り